

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

東京社保協ニュース

2016年が日本の夜明けの年と 成るように頑張りました



2015年は、国民の願いを無視した憲法無視の安倍内閣の強引な政権運営に明け暮れました。

デフレ脱却を公言したこの3年間の安倍内閣の実績は、かけ声倒れの実質マイナス成長に終わっております。憲法違反の安倍

法制・集团的自衛権容認（戦争法）の強行採決や国会決議無視のTPP受け入れ・野党の臨時国会開催要求無視などに余るものがあります。沖縄県民の願いをなおざりにした辺野古沿岸埋立の強行・国民の願いを無視した原発再稼働の強行・マイナンバー制度強行・社会保障の連続した改悪など数えれば限りがありません。国民の怒りが沸騰してきています。この野蛮な政権を終わらせねばなりません。

今年の7月には参議院選挙があります。18歳以上の若者にも選挙権が与えられる選挙です。この半年間の私たちの運動により、情勢を変えてゆける可能性が生まれています。

「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の呼びかける「戦争法廃止を求める2000万署名」を全力でやりきりましょう。

その力が野党共闘を後押しし、連立政権の可能性を作り上げます。連続して最高裁にて違憲状態とされている1票の格差が是正されない選挙制度の弊害も明らかになってきています。私たちの運動を旺盛に広げることが求められています。

今年が、希望を切り開く年となるように頑張つてゆきましよう。

2016年 元旦

東京社会保険推進協議会

会長 竹崎三立



怒りの座り込み

年金・医療・福祉の充実で 安心して暮らせる老後を

日本高連・都老協

日本高齢者運動連絡会と東京都老後保障推進協会が主催する厚労省前の座り込み行動が、12月16日から18日の3日間行われ、のべ130人近くがこの行動に参加しました。

「高齢者のいのちを守る平成28年度予算の実現と年金・医療・福祉の充実で安心して暮らせる老後を」を求めて、凍てつく寒さの中、最高齢86歳を先頭に、毛布やカイロ、甘酒などで暖を取りながら、3日間の泊まり込み行動を行いました。



「今年も残念ながら座り込みをやらざるを得なくなりました。今の政治は、弱い者をいじめていくようです」「高齢者ばかりが優遇されている。などと若者と対立させる構図が描かれていることは重大だ」など参加者が次々と訴えました。

この行動には、社保協をはじめ多くの団体や労働組合が激励に訪れ、日本共産党国会議員10人が激励の挨拶にかけつけました。

(都老協 坂本光治)



各地域・団体の取り組み

新宿社保協

新宿社保協は11月20日、シンポジウム「なくそう介護難民、現場から考える介護の現在と未来」を開催しました。事前に、介護保険事業者、町会長、民生委員、医療関係団体など111カ所を訪問して参加と協力を要請し120人が参加しました。

浅井武彦会長が「高齢者が安心して暮らしていけるように、実りあるシンポジウムに」と開会あいさつ。続いて、4人のシンポジストが発言しま



した。

ホームヘルパーの西野紀子さんは「ヘルパーの立場から見る介護の現場と今後の懸念と願い」、介護をよくする東京の会の中村和司さんは「介護保険改悪・介護報酬引き下げで、現場で何が起きているか」、新宿区高齢者福祉課の矢田和雄さんは「相談窓口で考えること、区役所の外へ出て考えること」について報告しました。

最後に、全国老人福祉問題研究会運営委員の矢部広明さんが、新宿区の実情にもふれて、「要介護になっても、人間らしく暮らせる政治を」と話しました。

会場からは、家族を介護している人、町会役員、訪問介護事業者が発言。「介護保険制度改悪の流れがよくわかった」「とても勉強になった」「老人パワーを見直そう」などの感想が寄せられました。

(事務局 赤川 享彦)

葛飾社保協

11月19日午後1時から4時まで、葛飾社保協が主催した



第7回「いのち・くらし何でも相談会」が行われました。

この相談会には29人の方が相談に訪れました。相談の内訳は、医療・介護5件、住宅に関するもの2件、生活一般3件、労働問題1件、法律相談関係が弁護士8件、税理士3件、社労士2件でした。

この数年で労働相談が減り、相談者の年齢層が高齢化し、年金、相続、遺言などが顕著になって来ています。また、人間関係、特に今回は親子関係が2件ありました。今日の社会の反映かと思えます。社会の人間関係が法律解釈からひもとかれる傾向がみてとれ、社会の中における潤滑油・ネッ

トワークが求められているのではないせしうか。

今回も社保協加盟団体の協力により、相談員が24人参加していただきました。医療・介護・営業・税金・くらし・住宅・年金・子育て・障害者・法律など、各分野の専門家がほぼ常駐した体制が組み、安心して相談を受ける体制が出来ました。

(葛飾社保協ニュースより)

西東京社保協

西東京社保協は、介護問題では介護報酬の大幅引き下げと介護保険制度「改定」の影響調査を目的に、訪問による介護保険事業者アンケートを実施し、17事業所から回答を得ました。現在、まとめの作業を行っています。このアンケート結果をもとに、1月8日に西東京市・高齢者支援課との懇談を予定しています。

また、2月上旬には高齢期問題学習会を、「下流老人」の著者である藤田孝典さんを招いて実施します。

(西東京社保協ニュースより)

八王子社保協

八王子社保協を母体とする「八王子の介護を良くする会」は11月2日、介護事業所アンケート調査に参加した「調査員」を対象に、介護保険改定に関する調査結果報告・懇談会を開きました。

「良くする会」から、八王子市の介護保険をめぐる現況について説明したあと、調査結果を詳しく報告、介護報酬の大幅引き下げにより、事業所経営も、介護サービスも、人材不足も、深刻な事態になっていることがわかりました。

参加者からは、「制度改定で、利用者さんもお風呂の回数を減らしている人もいて大変だ」「地域の介護事業所を初めて訪ねた」「大変な職場の様子がうかがえた」



など、貴重な感想が出されました。

11月17日、アンケート調査結果をもとに、八王子総行動の中で、市福祉部高齢者福祉課、高齢者いきいき課、介護保険課に対し、市として国に要望ほしいことと、市として緊急に対策を求めることを要望し意見交換しました。

市からは、アンケート調査の中でも多くの事業所から懸念が出されていた「チェックリスト」の使用については、総合事業開始の16年3月からすぐに使用せず、各方面の意見を聞き、慎重に対応したいとの回答を得ました。

(八王子社保協ニュースより)

渋谷社保協

12月22日、渋谷社保協は「何でも相談会」を渋谷駅西口モアイ像前で、9団体15人の参加により開催しました。寄せられた相談は4



件(医療、介護、労働、法律)でした。

介護相談では、「夫の認定調査日に調査が来なかった。結局、利用できないまま死んでしまった。使いたい時に使えない介護保険はおかしい」と怒りの声が寄せられました。医療相談では、「外来医療費の請求が高額になっているが、明らかにおかしい」などの相談がありました。

年末ということで、路上生活者などへ、おにぎり等の差し入れを配布しようと思われました。

介護などの請願は不採択

11月26日から12月9日まで渋谷区議会が開催され、恒例の請願・会派要請行動を実施しました。



会派要請

「介護報酬の緊急改定を国に要望する意見書を求める」請願は、「請願趣旨は理解できるが、財源の裏付けも無しに意見書は上げられない」と、自民・公明などの反対により不採択になりました。

(渋谷社保協ニュースより)

地域社保協事務局長会議

第3回多摩地域事務局長会議

2月18日(木) 14時～

会場：地域保健企画ビル

第2回23区事務局長会議

2月22日(月) 14時～

会場：東京労働会館5階会議室

滞納処分・差押問題 東日本学習交流集会

日時：1月30日(土) 11時～

会場：けんせつプラザ東京

基調講演 浦野 広明氏(税理士)

内容：特別報告・運動交流

主催：東京社保協・共催：中央社保協

参加申し込みは東京社保協まで(電話03-5395-3165)

第46回東京社保協総会

日時 2016年3月20日(日) 10時~4時(予定)

会場 けんせつプラザ東京

10時から学習会開催

加盟各団体から2人以上の参加を
総会参加者には弁当を用意します

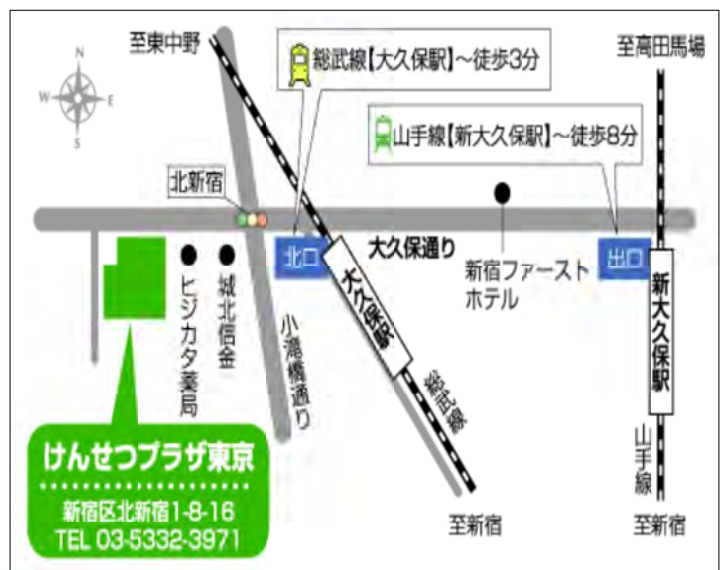
無料 学習会のみ参加も歓迎!



講師

芝田英昭

立教大学教授



第46回東京社保協総会 参加申込書 2016年 月 日

締め切りは3月16日です。この申込書をFAXして下さい

団体名() 担当者()

参加者氏名	学習会のみ参加は○	参加者氏名	学習会のみ参加は○

※必要事項を記入してFAXで申し込んでください。
お問合せは、東京社保協事務局まで(Tel03-5395-3165)

FAX 03-3946-6823